



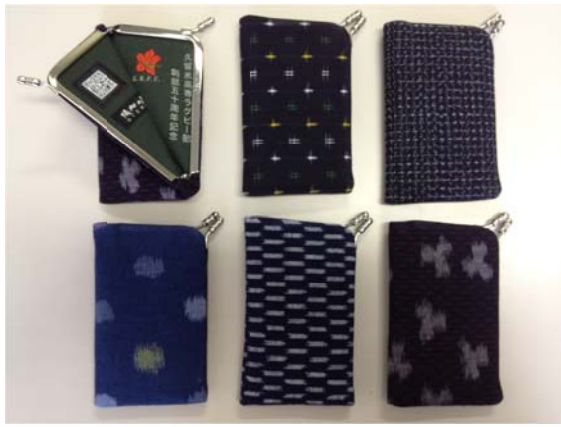
記念試合後の集合写真（平成 24 年 5 月 4 日 久留米高専グラウンド）



記念式典集合写真（平成 24 年 5 月 4 日 ホテルニュープラザ久留米）



記念碑（久留米高専グラウンド横）



記念品（久留米緋名刺入れ）



記念試合交換ペナント

ラグビー部50年祝う

久留米高専 記念試合や碑除幕
 創部50年を迎えた久留米高専ラグビー部が4日、同校グラウンドで記念試合と記念除幕式を催した。

試合の後、健闘をたたえ合った久留米高専（赤のジャージー）と有明高専のOB

3月には、創部から25年間監督を務めた井上弘之さんの強豪に育てた井上弘之さんが79歳で死去。全国から集まった約80人のOBは、名監督を悼み、半世紀にわたり受け継いできたワンフオーオールはみんなのために、みんなは1人のために、の精神をかみしめた。

大牟田市の有明高専を招いた記念試合には、両校の現役生やOB約100人が参加。勤務先の東京から駆けつけた末吉真悟さんの「2004年卒はこうやって集まれるのは先輩たちのおかげ。次は75周年を目標に、会を盛り上げたい」と意気込んだ。

同部は1962年に創部し、全国高専ラグビー大会で80、94、95年に優勝。除幕式では各優勝時のメンバーの名前を刻んだ記念碑と、部歌などを記した50周年記念碑の計四つを披露した。初優勝時の主将で、監督も務めた顧問の江崎昇二さん（52）は「井上監督は誰よりも50周年を築き上げていた。後輩たちが優勝や75、100周年の記念碑を増やしてくれるでしょう」と語った。

平成 24 年 5 月 5 日西日本新聞朝刊

▼久留米高専創部50年
 天に召された恩師に感謝
 また次の記念日へ

今年創部50周年を迎えた福岡・久留米高専が5月4日、同校グラウンドで記念試合と記念碑の除幕式、記念式典を行い、OB・現役部員などを合わせ約200人が集まった。

昭和37年に創部した同校ラグビー部は'80、'94、'95年に全国高専大会で優勝。いずれの決勝も九州対決だったが、'01年の第31回大会を最後に九州勢は決勝進出なし。その決勝が宮城高専対久留米高専だ。今年の第42回大会では2回戦敗退。先日5月13日の九州新人大大会では佐世保高専に0-40で負けている。

この日の記念試合には同県下の有明高専を迎え、現役、OBの試合をそれぞれ行い、久留米OB対現役（下級生）の試合も行った。久留米と有明の現役試合は33-7で久留米が勝利した。

披露された記念碑は4つ。優勝時のメンバーがそれぞれ刻まれた3つと、部歌を記したものだ。この記念事業の準備は実行委員会を中心に2年半前から開始。この日を誰よりも楽しみにしていたという、創部から25年間監督を務め、部とともに歩んできた井上弘之さんが、3月に79歳で



50年の世代を越えて、集合！

他界した。'94年の優勝時には、弊誌に涙ぐみながら取材を受ける氏の姿が掲載された。翌年の2連覇後にはチームの特集も組まれた。部長として温かい人柄をにじませた。集まった人々はその人柄をしのび、より結束を固くした。